

大会アピール

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を理念とした「水源の里」の活動は10年が経過し、緑豊かな森林、澄んだ空気、きれいな水と命を育む里であるとの国民的な理解と評価は高まり、私たちに元気と誇りを与えてくれました。

本日、「第11回全国水源の里シンポジウム びわ湖の素 米原大会」に参加した私たちは、水源の里をこれからも光り輝かせるためには、近江商人の歩んだ「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」の精神にも学び、あらゆる人々と手を携え、互いが役割を果たすことのできる環境を共に築き、水源の里の理念を実践していくことが重要であるとの認識を深めることができました。

私たちは、新たな舞台に立ち、素晴らしい水源の里を国民共有の財産として次世代に引き継ぐため、一体となって次のことに取り組むことをここに宣言します。

- 一 「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念に基づく流域連携の必要性を全国にアピールするとともに、流域間の情報交換、交流・連携を通じて水源の里の持続的展開を目指します。
- 一 水源の里に対して多様な関心を持ち、多様に関わる人々を増やし、新しい人の流れをつくることにより、水源の里の再生と活性化を進めます。
- 一 私たちは、水源の里に宿る心と文化を大切にし、自然と向き合う人間の生き方を示し伝え、未来に生きる子どもたちに自信と誇りを持って水源の里を引き継いでいきます。

以上を確認し、大会アピールとします。

平成29年10月12日

「第11回全国水源の里シンポジウム」参加者一同